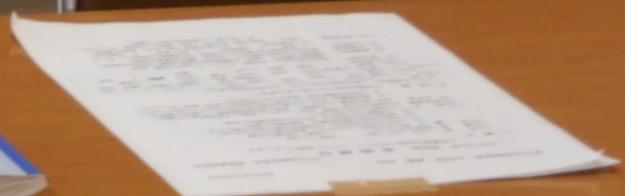
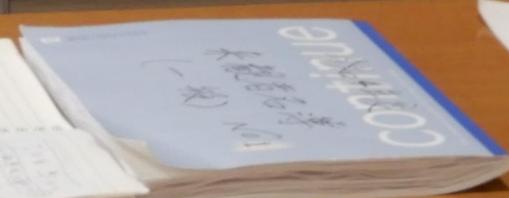
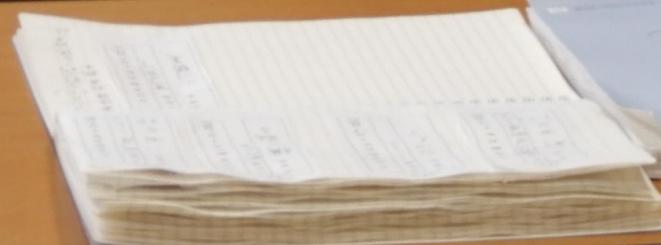


一般受付



義
です。

第33回

主催 荒川区退職校長会
後援 荒川区教育委員会

趣味展

会員有志の作品や趣味などの労作を展示発表します。
ご笑覧くださるようご案内申し上げます。

荒川区退職校長会々長 桜庭 清徳

とき 令和5年10月7日(土)~11日(水)
AM10:00~PM5:00(最終日 PM3:00)
ところ 荒川区立町屋文化センター
(京成町屋駅前)

出品者

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 石崎 和夫 | 小川 忠彦 | 加藤紗智子 | 加藤 純成 |
| 河合美津江 | 木村 國子 | 坂本 辰男 | 桜庭 清徳 |
| 戸叶 恒夫 | 野口和歌子 | 橋本 俊英 | 福田 雅 |
| 箭内 忠義 | 米本 雅子 | 山本 誠 | 望月 公子 |

趣味部



故那須正義
この作品は那須先生の篆刻です。

第33回

趣味

会員有志の作品や趣味などの労作を
ご覧ください。ご笑覧ください。ご案内申し上げま

荒川区退職校長会

とき 令和5年10月7日
AM10:00~PM5:00



ブーゲンビリア

私は、ピонクのブーゲンビリアの花が
大好きです。沖縄、伊豆、福岡と、
どこでも見かれられます。
夏には毎年、鉢植えを求めて愛でています。

趣味 展
ブーゲンビリア
(置物)

米本 雅子

荒川区退職校長会



黒曜石

北海道(置戸・斜里周辺)

昔の人たちは、「石」で道具を作っていました。中でもマグマからできる「黒曜石」は、硬くて鋭い割れ目ができるので、最高の材料でした。



大川民族博物館蔵
(直物)
黒曜石
Kato Junsei



スピーカーの研究作品

身近な材料でスピーカーを製作し、音楽を聴く
みんなが喜ぶスピーカーを研究しています。

- 1 旅の思い出のスピーカー
- 2 楽めし弁当の容器を活用したスピーカー
- 3 身近な材料でスピーカーを中心とした製作
コピー用紙やはがきを利用したスピーカー

山

趣味展
スピーカーの研究作品
(高知)

山本 誠

高知市立博物館

プラネタリウム館の活動～開館にあたって～

当館は、天体観測ドームとともに昭和 39 年 4 月に旧荒川区立科学館施設として開館されました。当時、荒川区が全国に先駆けてこのような科学館を開館したことは、理科教育を重視し、その発展を願う姿勢の現れといえます。

創設以来 49 年、創設理念を受け継ぎ、学習投影、区民プラネタリウムの開催と毎月の「天文ニュース」や「季節（春・夏・秋・冬）の星空」の発行等を行ってきました。

学習投影では、区内の保育園、幼稚園の園児や公立小学校 4 年生の児童を対象とした投影を通して、星空への興味や関心を育み、学習の深まりを助けてきました。特に小学校 4 年生を対象とした学習投影では、

学習指導要領の内容をもとに「夏の星空」「冬の星空」についての学習プログラムを作成してきました。また、その時期における宇宙科学の最新情報も提供するように心がけました。

区民プラネタリウムでは、区民の方々を対象に、毎月第 2、第 4 土曜日の午後 2 時より、年間 24 回の一般投影を開催してきました。最新の情報をもとに宇宙論、太陽系の星々、宇宙科学、天文現象、星座神話等をテーマに、担当者の創意工夫の中で投影シナリオやスライド資料等を作成し、60 分間の生解説を行ってきました。

当館は、直径 8 メートルの小さなドームです。各地で最新機器を備えたプラネタリウム館が次々とオープンする中で、49 年もの長い年月、大切に使ってきた当館の投影機（五藤光学 S-3）は、プラネタリウム発展の遺産ともいえる本当に貴重な存在です。最近では、「日本一古いプラネタリウム館」「「生解説のプラネタリウム館」等と様々なメディアに紹介され、区内の方々はもとより、全国からプラネタリウム愛好家の方々も来館され、一般投影には、年間 1,000 人を超える来館者がありました。

毎月発行した「天文ニュース」や年 4 回発行した「季節（春・夏・秋・冬）の星空」や来館をきっかけに星座への関心を持っていたり、夜空の星々の動きや変化、さらに最新の観測技術のすばらしさに目を向け、本物の星空の素晴らしさ、美しさを実感していただければ幸いです。

9 年間プラネタリウム館が続いたのは、区民の皆様、投影機のメンテナンスをしてくださった光学の技術者の方々、関係者の皆様のご協力、支えがあってのことです。本当にありがとうございます。

年前全国に先駆けてプラネタリウムを創設した姿勢は、さらに将来に向けて発展し、いつの日か新プラネタリウム館が開設されることを願っています。

五藤光学 S-3

荒川区立教育センター プラネタリウム担当 杉本、藤崎



My Town, Our Planetarium # 121

You can rely on some things...

In 1964, some 46 years ago, the Arakawa Education Center planetarium in the Arakawa ward of Tokyo opened its doors with a brand new GOTO Model S-3 opto-mechanical planetarium projector. For 46 years it has been used regularly to give astronomy education programs to children in the local elementary and junior high schools. For 46 years, GOTO technicians have been making regular servicing and maintenance visits. And for 46 years, the staff has enjoyed and has enjoyed the solid reliability of the GOTO Model S-3.

The staff at Arakawa knows that they can rely on GOTO for continuing service and support... for as long as they want to operate their S-3. GOTO INC has never abandoned support of one of its products, and we don't plan to change that policy in the future.



Arakawa Education Cen

In changing times, it's good to know that some things remain constant. Whether the changes are gradual or rapid, we all look for things we rely upon. In the planetarium world, you can rely on GOTO INC.

You can rely on GOTO to continue to invest in innovation - the same kind of investment that was rendered, full-color digital video system, and which brought the HYBRID planetarium into being. Yet we continue to make new products, please know that we also continue to maintain and support even oldest ones. You can rely on GOTO.

History of GOTO PLANETARIUMS

For more information on the opto-mechanical projectors in GOTO's long, successful history, please go to http://www.goto.co.jp/english/corporation/corp_history_pla.html and click on the projectors which interest you.

To learn more, contact:

GOTO INC
4-16 Yotsukicho, Fuchu-shi, Tokyo
183-0530, Japan
TEL: +81-42-385-5312
FAX: +81-42-381-9371
E-Mail: info@gotosho.co.jp
URL: <http://www.gotosho.co.jp>

GOTO LIAISON

346 Ilimano St., Kailua, HI 96734
Toll-Free from USA: 888-947-5800
International: 808-254-1898
FAX: 808-254-1902
E-Mail: gotosousa@earthlink.net



五藤光学研究所 50 周年記念文集
天文映像システムズへ続いた挑戦 (1964-2014)
ページ (内容は第 4 号から 5 号までの合併版)

趣味長

荒川区立プラネタリウム館解説本稿等資料

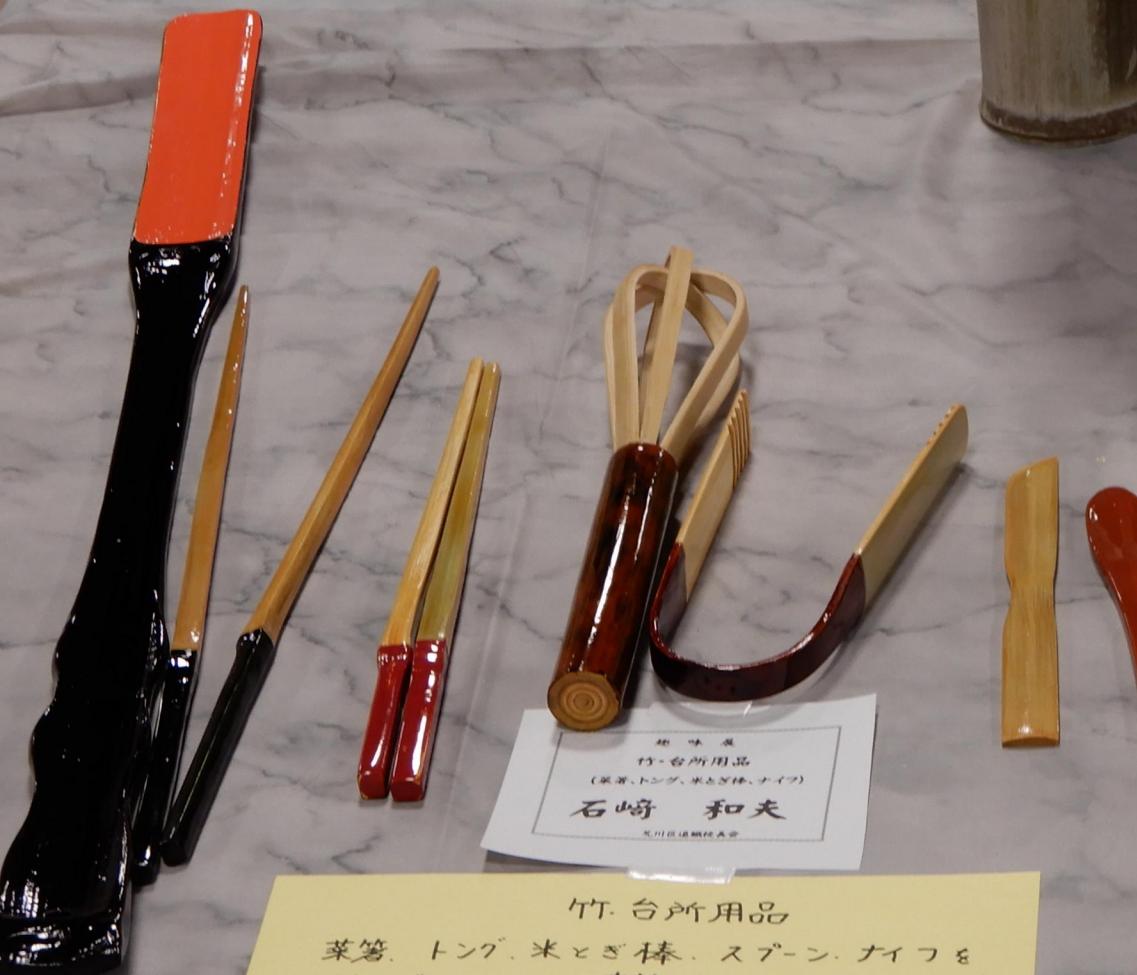
(直物)

坂本 辰男

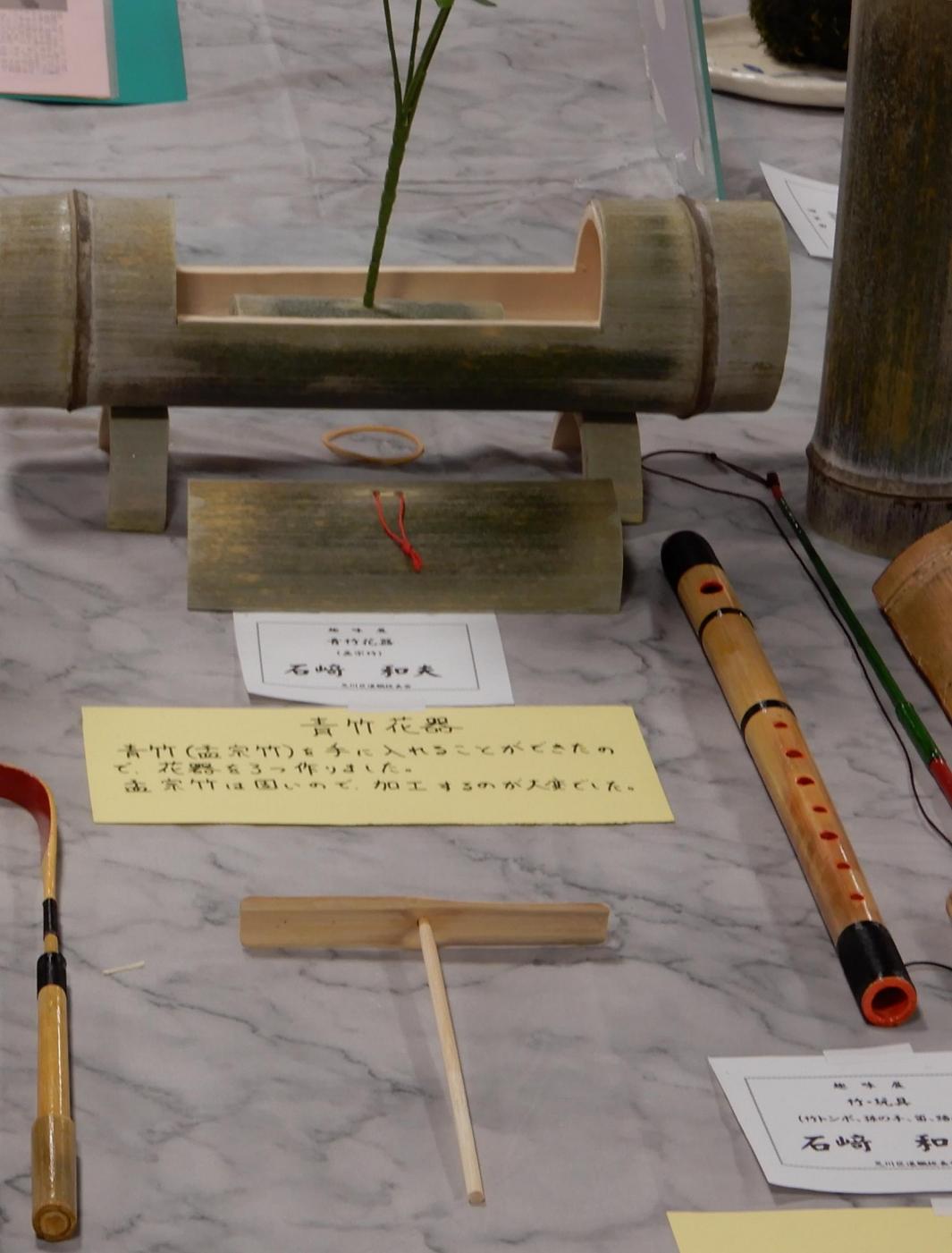
荒川区議会議員会



华やか
青竹花器
(孟宗竹)



竹・台所用品
菜箸、トング、米とぎ棒、スプーン、ナイフを
真竹で作りました。真竹は加工がしやすいので、
色々な物が作れます。



竹トンボ、箒を作りました。色々
で色々と作れる





趣味展
アサガオ
(直物)
河合 美津江
荒川区道職校美会

あさがお (ちぎり絵)

ロナ禍でちぎり絵講習会に行きました。
を紙縫りのようなくのや和紙を手でちぎるのが
かったです。
先を動かして楽しい活動だと思いました。
河合美津江



生命の輝き

橋本俊英

東の空に、清々しい朝日が昇り、朝焼けが広がる。

雁の群れが西の空を目差して、一声歓喜の声を上げて、飛び去つて行く。

足元を見ると、紫露草が薄紫色の着物をまとつて咲き誇つてゐる。

ああ、この地球上には、何万何億、何兆もの動植物たちの生命が満す満ちてゐる。

地球上に、生命が誕生し、古生代、中生代、新生代と時は、秒り、動物たちも人類も進化し続け、人間の知識・知能は、膨大に高まって行つたが、人間の心は、虫ばまゆ、人間が人間を殺りくする戦争までも起き、動物も絶滅するものまで

發生している。

この世は、天国なのか、地獄なのか分からぬ。

昔、旧人のネアンデルタル人達は、争うこと嫌い、共に助け合い、励まし合つて生きていた。

人類愛と人間愛に満ちた、動植物たすと共生できる、生きとし生けるものすべてを慈しむ現代人になつて欲しい。

「**鋳人**」
中國古文より
刀を鍛造するように
人をつくりあげる

「**鋳人**」
(1)
加藤 紗智子



業盡有情
故宿人身
放系同証
佛果



大澤

倉橋惣三 育ての心
自ら育つものを育たせようとする心
それが育ての心である
世にこんな楽しい心があるうか
それは明るい世界である
温かい世界である
育つものと育てるものとが
互いの結びつきに於て
相樂しんでいる心である

和歌子書

趣味展
育ての心(倉持惣三)
(硬筆)

野口和歌子

光川区連絡協議会

『育ての心』

保育園
真髓
姉が大

趣味展
勘文
(書)

加藤 紗智子

光川区連絡協議会

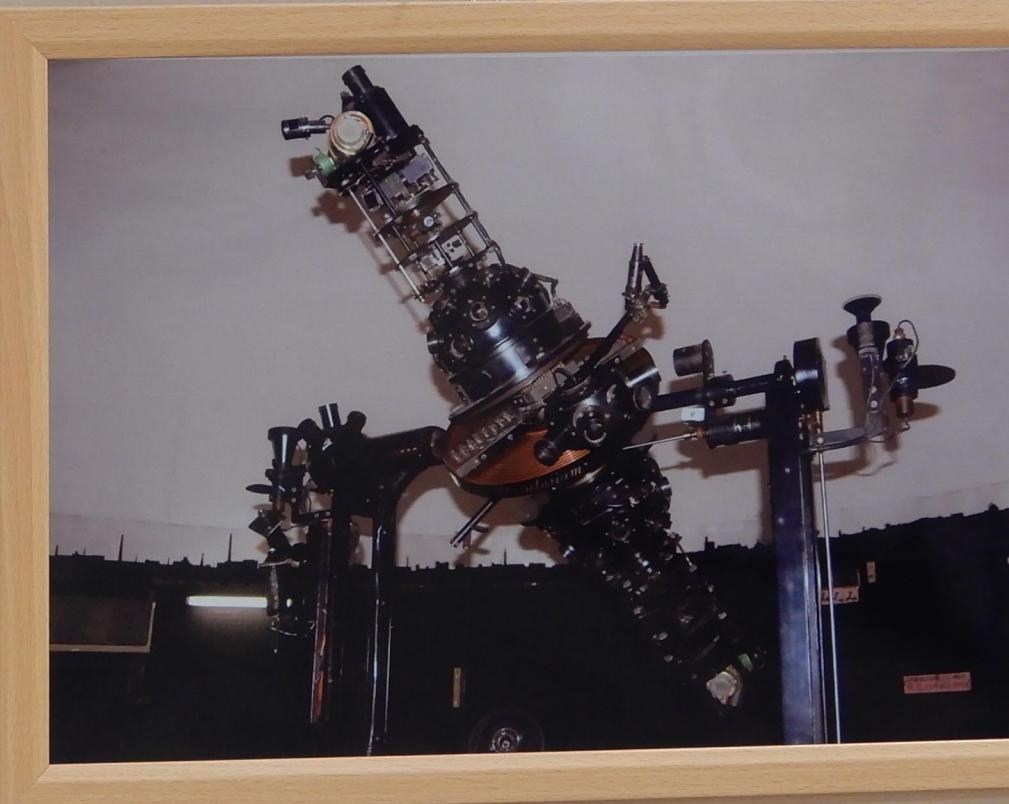
業盡有情
故宿人身
放系同証
佛果

勘文



趣味展
皆既月食と天王星食
(写真天体)
坂本 辰男
荒川区立総合技術会議

皆既月食と天王星食
2022年11月8日 442年ぶり。月食中に天王星食も
起こる非常に珍しい皆既月食となりました。
月の左斜眼下の青白色の星が天王星です。
天王星が月に隠れる40分程前の姿です。



趣味展
荒川区立プラネタリウム館投影機S-3
(写真)
坂本 辰男
荒川区立総合技術会議

荒川区立プラネタリウム館 投影機S-3型ビーナス
昭和39年開館 荒川区立科学館 プラネタリウム投影機S-3型
ビーナス、平成25年3月、49年の歴史に幕を閉じました。
当時国産最年長のプラネタリウムとして市民の皆様に愛されて
投影機。
当時の資料等一式展示しております。



趣味展
川越城本丸御殿にて
(写真)
加藤 純成
荒川正道攝影委員会

川越城本丸御殿にて

2023.06.30

荒川シルバー大学「今と昔の歴史散歩教室」のバス旅行で、川越城・市立博物館・蔵屋敷街を見学しました。

撮影 Galaxy S21 5G(スマホです)



趣味展
部分月食
(写真大作)
坂本 辰男
荒川正道攝影委員会

部分月食

皆既月食前の部分食です。満月の60%程度が
地球の影に入っています。



地味屋
槍ヶ岳モルゲンロート
(写真)
加藤 純成
飛騨山脈研究会

槍ヶ岳モルゲンロート

2023.08.03 燕岳にて
ご来光を観ていたら、後ろの槍ヶ岳が紅くなっていました。

撮影 Galaxy S21 5G (スマホです)



地味屋
コマクサの向こうに槍ヶ岳
(写真)
加藤 純成
飛騨山脈研究会

コマクサの向こうに槍ヶ岳

2023.08.03 北燕岳にて
北燕岳の回りの斜面には、「コマクサ」が一杯咲いていました。

撮影 Galaxy S21 5G (スマホです)



趣味展
北海道工業・エゾシカ
(苏鳥)
小川 忠彦
小川忠彦氏会

釧路湿原の西側に位置する温根内ビジターセンターで
木道を歩きながら湿原の植物を観察中、突然現れた
若いエゾシカ、何だか目が合ったような気がして
あわててシャッターを……。



趣味展
北海道工業・タンチョウ
(苏鳥)
小川 忠彦
小川忠彦氏会

絶滅と思われていた日本のタンチョウが、釧路
湿原で1924年に再発見されて以来、地元の人たちの努
力でその数も相当に増え、充分に採飼のできる環境
も整ってきた。今では近辺の田畠でもその姿を見ること
ができる。温根内ビジターセンターに向かうバスの中
から見つけた2羽。



第十一回 上の上(2)
又は盛上

仲はした

解散後、遅日の昼食は

左手玉
あけひやうね

千葉吉来
の招猫

吉来

右手玉
あけひやうね

金運福鬼

吉来

学生の話によると... 石井と左近とおなじだ。

どうりやがれ
どの猫も
右手を
舞うた
はまつた

豪徳寺と云ふ。まほき猫
何ぞし、昔般御猫に招かれて、御宿り
山

現在・国指定史跡

豪徳寺と云ふ。まほき猫

六地蔵堂

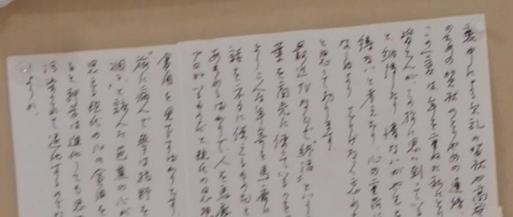
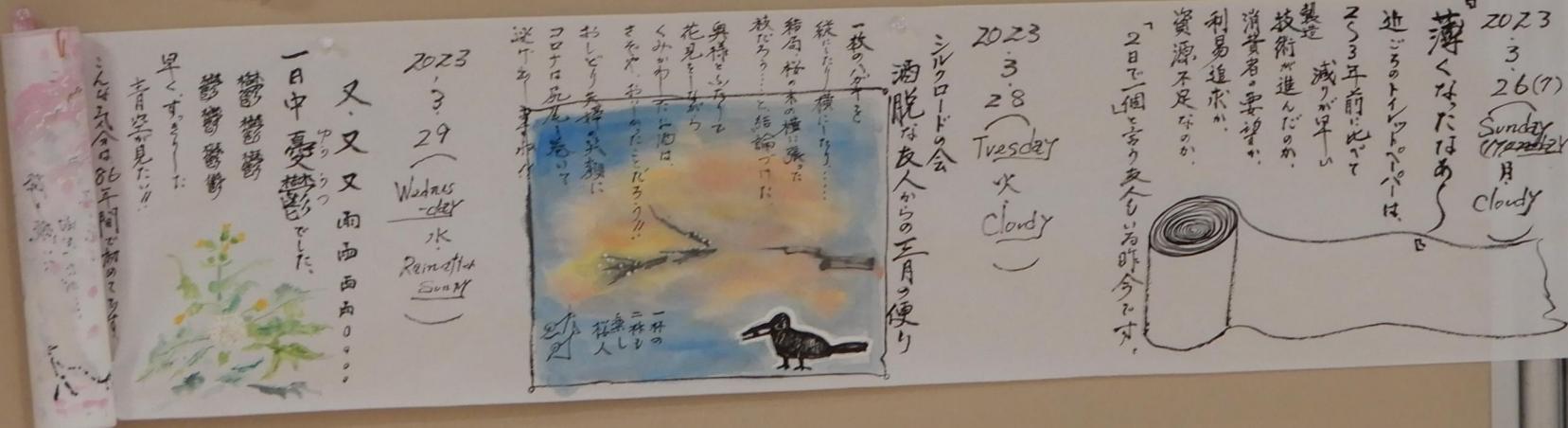
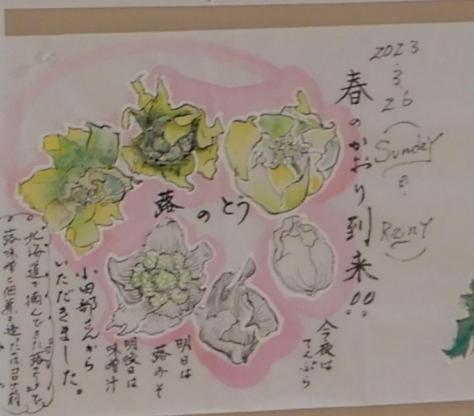
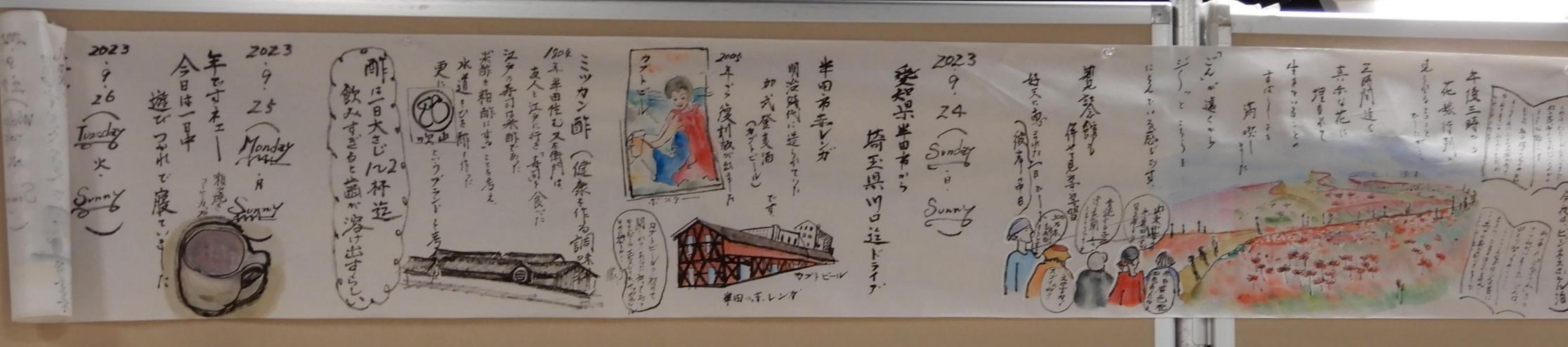
シヤガ

梵鐘

参道

2020.9.21
Thursdays
木
Cloudy

豪德寺改稱





北条義
眼下に咲く
(写真)
戸叶 恒夫

陽日川花火大会が又し橋川に開催された。
今回は20台ソーラーの展望車から撮影した
花火花火は地上から空を空あけた方が
最初すうめんと感いた。



北条義
北浦江二号・タクシュベツ川橋梁
(写真)
小川 忠彦

老更川を堆止めて人造湖(竣工1955年)が造られた際、新ルート切り替えのため、1967年に廃橋となった油田鐵士幌橋の一部に架かる橋。灌水期以外は、水没して、既る幻の橋といいられる。1937年製造式身中崩壊が激しく、数年前には倒壊するとも言われている。



足並みそろえて
(審査)

戸叶 恒夫

荒川区道場吹奏会

今年は各地で祭りが復活し、多くの
かたがてまとまっています。富岡八幡宮は本命とされて
人気があります。盛況の中、水をかけられながら
楽しむ様子が印象的です。



みこし渡御
(審査)

戸叶 恒夫

荒川区道場吹奏会

城東神社の三社祭は、子供たちが町内
周辺で100基の連合渡御が実施され、
城東署の本堂裏庭場に集合し、一斉に起業
で練り上げて各町会へ渡御します。



趣味展
弘前の枝垂れ桜(青森)
(写真)
河合 美津江

弘前の枝垂れ桜
撮影地 青森県・弘前市 2023年4月
弘前公園の桜が満開の頃行こうと計画したのですが、
今年は開花日が早くなってしましました。弘前城の人
口で、家族連れが写真を撮っていたのが楽しそうで、
シャッターをきりました。
河合美津江



趣味展
モニュメントバレー(アメリカ)
(写真)
河合 美津江

モニュメントバレー
撮影地 アメリカ・ユタ州 2022年11月
ユタ州とコロラド州にまたがり、東京23区の半分く
らいの面積です。ここはナバホ族の住む地域で、ホテ
ルも1軒しかありませんでした。赤茶けた平地に点在
するモニュメントを朝日や夕日が照らしています。
河合美津江



趣味展
久米島の畳石
(写真)
加藤 紗智子
児川区連絡校長会

久米島の畳石

柱状節理の表面が波の侵食で平面になつた、世界的にも珍しい奇岩群



趣味展
グランドキャニオン(アメリカ)
(写真)
河合 美津江
児川区連絡校長会

グランドキャニオン
撮影地 アメリカ・ユタ州 2022年11月
ユタ州の渓谷は壮大で、コロラド川が流れています。素晴らしい光によって峡谷の様子も変化します。素晴らしい絶景でした。



趣味展
蓬華岳
(写真)
箭内 忠義
光川区道顕彰会

蓬華岳 (北アルプス)



趣味展
絶滅危惧種サイ
(写真)
加藤 紗智子
光川区道顕彰会

絶滅危惧種のサイ
サファリでも遭遇稀なサイ
父母子
子をみつけてください。



越後
涼花
(アサザ)
木村 國子

涼花 (アサザ)
木村 國子



越後
石鎚山
(アサザ)
箭内 忠義

四国の石鎚山は神社がある頂上は
本当の頂上ではありません。
岩稜の先に最高地点が別にありました。
最高地点から見た神社頂上の景色です。



趣味展
清閑
(山ユリ)
木村 國子
光川日進園芸会

清 閑 (山ユリ)

木村 國子



趣味展
黄色い山霧
(キスゲ)
木村 國子
光川日進園芸会

黃花山霧 (キスゲ)

木村 國子



趣味展
「Murasuru Chokkoku 3」
(アクリル画)
福田 雅
光川庄造蔵美術会

知性とは遠くばり、触覚の世界といひたの
ぞうす。どしどこが起こつても不思議さは
なきほんと明めぬことが……



米本 植子

紅葉
静寂な池の面に紅葉が落ちて
しんじ葉の跡は浮葉(?)と飛
り散る様子を表現したものです。



米本 植子

朝日の富士
いつく美しい富士山の朝日を見た
ときに、絵で表現するのを始めた
ときから、富士山はお気に入りの
テーマになりました。丁度いい
(?)絵を表現するのも好きです。



米本 植子

恋途のバラ一輪
恋途のバラ花一輪。(この山を
見て、また見て、また見て、また見て
いたい)絵を表現するのも好きです。